



### 薬剤部からのお知らせ

### 注射薬自動払出装置（アンプルピッカー）に関する FAQ

2010年6月より稼働している『注射薬自動払出装置（アンプルピッカー、以下ピッカーと記載）』は、順次対象病棟を拡大し2011年2月1日現在、12病棟で運用しております。まだ全病棟での運用に至っておりませんが、1月に薬剤部内の工事が一部終了し作業スペースが確保できました（写真右）。現在、ピッカー未導入の病棟は、病床数が多いためにピッカーカート1台での運用が困難であることが予測されます。詳細に運用を検討しなければなりませんので、ご協力をお願いします。そこで、ピッカーの運用についてのFAQ（よくある質問一覧）を作成致しました。今後の業務の参考にしてください。



ご不明な点がありましたら薬品管理室（内線5688）までお願いします。

#### Q1 ピッカーを導入することでのメリットは？

自動で薬剤の払い出しをしますので、取り間違いなどのミスが軽減されます。

#### Q2 旧方式とどこが違うの？

旧方式は患者さんの薬剤を一つのトレイにまとめて払い出しをしていましたが、ピッカーでは1施用毎にトレイにセットします。病院機能評価のバージョンアップも考慮し、補液もセットして払い出します。ラベルも施用毎にトレイ

に払い出します。病棟での取り揃えミスが防げます。



【使用に関するお願い】  
トレイが汚れたまま薬剤部へ戻ってくる場合があります。薬液がこぼれたりして汚れた場合は、必ず洗浄して戻してください。

#### Q3 病棟でのデメリットは？

カートが大きいので、場所の確保が必要になります。しかしながら、導入により補液の在庫を減らすことが可能になりますのでレイアウトを変更するなどして検討してください。

#### Q4 週末分はどうするの？

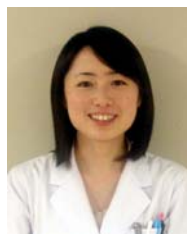
現在、運用している病棟は週末分を含めて1台で運用していますが、今後導入予定の病棟では1日2台分以上となることが考えられるため、週末にまとめて払い出すことが困難です。1日毎に交換する方法を検討しています。

#### Q5 ラベルが剥がれやすいと聞きましたが、大丈夫でしょうか？

導入当初は剥がれやすいラベルで自然に剥がれてしまうこともありました。現在は粘着力が強いものへ変更し問題ありません。

## Staff Interview

薬剤師 横田 亜季



薬品管理室の横田です。日々ピッカーを用いて注射薬の調剤を行っています。ピッカーは病棟で安全に薬剤を使用して頂くための大切な役割を担っており、私達の大切な「仲間」です。今後ピッカー使用の病棟拡大に伴い、時間内にカートを払い出すため業務の効率化を図っていきたいと思います。また、患者さんと直接会う機会が少ない部署ですが、患者さんのことを考えながらチーム医療の一翼を担っていかれたらと思います。

編集委員：浅野 逸郎、林 ねり子、水口 貴史、川岸 亨、笠師 久美子

ご意見、ご感想をお待ちしています kusuri@med.hokudai.ac.jp